

保護司会だより

黒松

第80号

令和7年7月5日発行
柏崎刈羽地区保護司会
TEL(0257)23-8615
柏崎市豊町3-59
総合福祉センター内



7月は「社会を明るくする運動」強調月間です

桜夕照（長峰町） 撮影／保護司 佐藤俊男



会長就任に当たり

柏崎刈羽地区保護司会会長

永寶 和彦

4月から保護司会長を拝命いたしました。何卒よろしくお願いいたします。

近年、凶悪犯罪は減少しているものの、その低年齢化や特殊詐欺等知能犯の増加が特徴的だと言われます。その背景には、社会や家庭環境の変化、経済格差の増大などがあり、犯罪防止のためには、生きづらさを抱える人々をいかに社会で支えていくかということが求められています。

コロナ禍で、市の防災行政無線から流れる放送がAIによる音声だと知り驚きました。最近では、テレビのニュースでもAIによる音声流れます。これからますます様々な分野でAIが活躍していくと思われませんが、人と人とのつながりが失われては決して明るい社会の実現はありません。保護司会では犯罪の無い社会を目指し、「社会を明るくする運動」を推進しています。それは多くの人の日常生活が守られ、心豊かに生きられる共生社会を目指す運動であると聞きました。そのためには地域の方々の力が必要です。保護司会も地域の皆様と共に活動していく中で、その使命を果たしていきたいと思っております。

「社会を明るくする運動」に寄せて



新潟保護観察所 所長

綿 引 久 一 郎

柏崎刈羽地区保護司会の皆様には、日頃から更生保護活動にご尽力いただき、ありがとうございます。本年4月に赴任してまいりました。どうぞよろしくお願いたします。

さて、7月は、法務省主唱で行う「社会を明るくする運動」の強調月間です。本運動も今回で75回目を迎えました。

この運動は、戦後間もない1949年7月、戦災孤児や浮浪児に溢れた銀座の状況を目の当たりにした商店街の方達が犯罪予防と、銀座の地の文化的向上のために自発的に開催した「銀座フェア」が発祥とされています。

7月が運動の強調月間としているのも、

ここに由来があります。その後、「青少年が太陽に向かって咲くひまわりのように強く成長して欲しい」という願いから「ひまわり」が、名作「幸福の黄色いハンカチ」をモチーフに「幸福の黄色い羽根」が作成され、シンボルマークとなりました。

近年では「ホゴちゃん・サラちゃん」（ペンギンが飛行しないことから、非行しない更生ペンギンが考案されたとの説あり）がマスコットキャラクターとして運動を盛り上げてくれています。こうしたものが、活動の広報に果たした役割は大きなものがあります。しかし、大切なのは、この運動に参加する方々の「思い」であると感じています。

私が永く保護司さん方と接する中で感銘を受けてきたことは、「立ち直りを支えたい」という人間愛や隣人愛の深さと共に、「大切な郷土をより良いものとして残していきたい」という地域愛の大きさでした。社会を明るくする運動の基底にも流れる大切な「思い」であると実感しています。

地域での関係性の希薄化は、住民同士の関係だけでなく、住民と地域との関係も弱めてしまっています。だからこそ、こうした「思い」が、運動を介して一人でも多くの住民の方に伝わり、犯罪・非行予防の枠を超えて、地域での様々な関係性の復活につながることを願っています。



愛の協力運動会費会計報告

ご協力ありがとうございました

令和6年度皆様からお寄せいただいた「愛の協力運動」新潟県保護観察協会会員募集による会費は、県全体では**70,956,044円**で、次のような事業に使わせていただきました。

内訳

- | | |
|---------------------------------------|-------------|
| 1 “社会を明るくする運動”をはじめ通年の犯罪・非行防止、社会浄化活動費 | 35,394,508円 |
| 2 更生保護施設への助成及び保護観察を受けている者への更生援助金 | 1,901,300円 |
| 3 研修・研究・矯正施設等視察諸経費 | 10,461,808円 |
| 4 関係機関・団体との連絡調整費 | 1,058,088円 |
| 5 更生保護協力団体(更生保護女性会、BBS会、健全育成団体等)への助成費 | 8,136,491円 |
| 6 運動諸経費(趣意書作成費、郵送費、連絡費、人件費等) | 14,003,849円 |

「愛の協力会員」募集のお願い

更生保護法人 新潟県保護観察協会
理事長 花角 英世

7月に入りましたら、各町内会長を通じて会員募集の案内を皆様にお配りします。ご理解とご協力をお願い申し上げます。この会員募集についての照会は下記宛にお願いいたします。



柏崎刈羽地区保護司会
会長 永寶 和彦

☎ 0257-23-8615(保護司会事務局)

◎主催

「社会を明るくする運動」

「犯罪や非行を防止し、立ち直りを支える地域のチカラ」

新潟県推進委員会

法務省・新潟保護観察所

◎応募規定

(1) 応募資格

小学生及び中学生

(2) テーマ

「社会を明るくする運動」の趣旨

を踏まえ、日常の家庭生活、学校生活の中で体験したことを基に、犯罪・非行のない地域づくりや犯罪や非行をした人の立ち直りについて考えたこと、感じたことを題材としたものとしします。

(3) 原稿の枚数

400字詰め原稿用紙3〜5枚程度

(4) 応募先、締切り

〒945-1004

5

柏崎市豊町3-59

柏崎市総合福祉センター内

令和7年度「社会を明るくする運動」

作文コンテスト実施要綱(抜粋)

自分を知りたい、

何をたくましくするのかが、

遠くから見守るそのまなざし。

待っている人の存在に気づいたとき、

立ち戻れると信じられる。

たとえ時間がかかっても、

進む、希望とともに。



柏崎・刈羽地区保護司会事務局

(☎ 23-8615)

締切り 令和7年9月4日(木)

◎表彰

柏崎市および新潟県から、それぞれ表彰を行います。

■ 依存症（アディクション）について ■

柏崎刈羽地区保護司会

田村 秀一

いつも更生保護活動につきまして、ご理解とご協力をいただき、ありがとうございます。今回は、最近、新聞等のマスコミでも問題にされております。依存症（アディクション）について、説明させていただきます。

現在、犯罪の背景に、この依存症がかなりあると言われております。特に、今、問題になっている再犯者の背景には、依存症の存在が大きいと言われています。

1 依存症とは

依存症は、人間に対しどうしようもないようなストレスが加わった時、そのストレスから

離れるために、何かに依存してしまう病気です。依存をしようとする対象としては、アルコール・薬物・ギャンブル・ネット・ゲーム・買い物・性衝動などがあります。アメリカの例では、この依存の対象は、200以上も存在しているとされています。しかし、ストレスに出合った時、全て人間が、この依存症状になるわけではありません。

ある一部の人間は、大きなストレスに出合った時、依存対象に出合い、脳内から快楽物質が流れ、やめられなくなるのが症状の始まりです。この症状に陥ってしまうと、冷静

な判断力が失われてしまい、どんどん深みにはまってしまいます。この病気は、誰にでも発症するとは限りませんが、誰にでも起こり得る病気なのです。

2 依存症に対応するには

依存症は、社会的影響力の大変に大きい病気です。時には、人の生命を奪いますし、家族の生活破壊も招く場合もあります。そこで現在は、以下のような、いろいろな人間が、いろいろな組織で、いろいろな方法で、依存症に対応・支援しようとしています。

○ドクター対応（市内の関病院その他）

○依存症自助施設
○依存症自助グループ
3 おわりに

依存症の原因は人柄や人格の問題ではなく、繰り返しやめられにくくなるので、脳内システムの問題だという関係者がいます。脳内に依存関係の回路ができてしまうと、誰にでも起こり得る可能性があります。皆様にも、まずは依存症について、しっかりと知ってもらい、理解をしてほしいと考えています。今、この依存症に対する取り組みは、保護司会としても、見過ごせない問題になっています。

柏崎刈羽地区更生女性会 更女の活動

新潟少年学院書き初め大会に参加して



西須ヒロ子

1月21日、長岡市にある新潟少年学院に、更女会の会長をはじめ5名で訪問しました。

少年学院の広い講堂に、生徒たちが縦横に一寸の狂いもなく並び、書道の道具もきちつと用意されていました。四文字熟語を課題に書き初めをするということでした。大人の私たちにも、自由に書いてくださいと場所が用意されていました。私自身も数枚書かせてもらいました。

その後、生徒の様子を見て回りました。学院の先生から生徒たちに声をかけてくださいとのことでしたので、話しかけると素直な言葉が返ってきて、素晴らしい教育を受けていると感心させられました。

この素直に育った生徒たちが、将来社会に巣立ち、素晴らしい人生を歩んでほしいと思いました。

新潟少年学院施設見学会

施設見学会の内容

- 少年院を見てみよう！
～新潟少年学院の施設内の見学
～少年院では何を学んでいるの！
～教育概要の説明
- 少年たちが作った作品を販売するよ！
～「湯呑み」や「コースター」
- 自分の性格は？
～新潟少年鑑別所の展示、性格診断
- 刑務所ではこんな物も作ってる！
～新潟刑務所による刑務作業製品の展示即売
- えちご産物文化研究所の産物販売
～「湯田」でできたお米や野菜
- フラワーアレンジメントの体験講座
～本間恵子氏によるフラワーアレンジメント体験
- ちびっ子法務教官体験
～制服を着て写真を撮ろう
自分の名刺も作れるよ！

少年院で飼ってる子やぎもいるよ！

高柳地区更女の活動

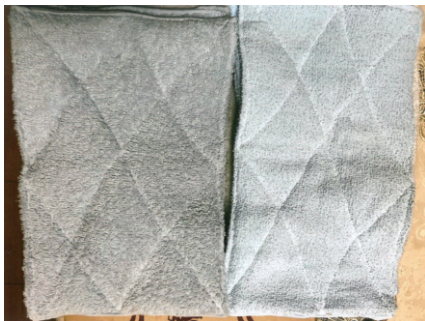
当地区は、柏崎市中心部から25キロほど入った山あいの集落です。過疎が進み、高齢者の多い所です。

更女の会では、諸先輩の頃からミニ集会を定期的に行っていました。内容は、高柳駐在所様から地域の様子や高齢者を狙った詐欺のお話等をお聞きし、地元の保護司の方からは、DVDを見ながら活動の内容を分かりやすく説明していただきました。また、教員をされた地元のお寺様からは、生徒たちの元気な様子やご自身の経験談をお聞かせいただきました。

このように、それぞれの立場でご活躍されている方のお話は、貴重であり新鮮でした。最後に「愛をみんなを」を歌うと、皆の気持ちのまとまりを感じます。

近頃は、集まりの機会に「雑巾縫い」をしています。先輩方がつないでくれたご縁を細く長く続けていけたらと思っています。

石塚麻里



雑巾縫いの様子

つながるⅡ認め合う

柏崎刈羽地区保護司会

副会長

神林 均

現職の頃、登校する子どもたちには挨拶をしていました。私の脇を黙って通り過ぎる高校生もいました。「おはようございませ」と私が声をかけても返事はありません。翌日もその翌日も声をかけましたが、彼女は無言のまま早足で学校に向かいました。

マホの小さな画面越しでなく、直接顔を合わせてつながることは、互いを認め合うことなのです。そこには「あなたを見ています」、「あなたが大切です」という温かなサインが確かにあります。大人同士も互いに声をかけ合いましょう。つながりが強くなればなるほど安全・安心な地域になるはずです。

何日か後、いつものように挨拶をすると「おはようございませ」と返してくれたのです。つながりを実感することができた瞬間でした。その後、自分から挨拶をしてくれるようになりました。それも微笑みながら…。SNS等での『つながり症候群』が問題になっています。ス



このたび、令和6年10月1日付けで保護司を委嘱されました。

以前の職場で、保護司をされている先輩がおり、その時は漠然と大変なことをされているなあと感じていましたが、まさか自分はその番がやって来るとは夢にも思いませんでした。なお、その先輩は今も現役で活動されています。

私は、日々のニュースから、人はなんでこんなにも簡単に罪を犯してしまうのか、背景には何かあるのかと考えることがあります。また、国が再犯防止に力を注いでいることを知る機会もありました。

「新任のごあいさつ」

保護司 村山 昭雄

罪を犯してしまった人が、社会に戻るには、本人の強い更生意欲と併せて、地域の皆様の理解と支えが必要です。保護司の活動はその一端を担っているものと理解しています。

再犯のない明るい地域社会の実現に、未熟者の私が務まるの不安もいっぱいですが、皆様のご理解と先輩方のご指導をいただきながら、努力してまいります。どうぞよろしくお願いたします。



保護司会の 活動



内閣総理大臣
メッセージの伝達



社会を明るくする運動、啓発物を配布



小学生に薬物乱用防止の出前授業



保育園にぬり絵のプレゼント



社会を明るくする運動、啓発物を配布



柏崎刈羽更生保護女性会



新潟少年鑑別所視察研修



「目の不自由な方に情報を」

柏崎音訳の会 会長 五十川 直子

柏崎音訳の会は市内の目の不自由な方を対象に、広報か
しわざき、柏崎市議会日より、
福祉のひろば、柏崎身体障害
者福祉日より「みち」、アトム、
地域の会、黒松、その他の音
声CDを作ってお送りしてい
ます。昨年から防災ガイドブ
ックの製作にも取り組み始め
ました。

21名のメンバーが3班集体
で作業をしており、パソコン
にマイクをつないで録音し、
皆で聞きあって校正し、聞き
やすいように編集する作業に
は音訳技術やチームワークが
大切です。

そのため第3土曜日の午後

は、福祉センターで例会を持ち、
技術向上を目指して研修をす
るほか、年一回程度、外部講
師を迎えて研修を行っていま
す。

その他の活動としては、年
一回広報かしわざきに募集記
事を掲載して音訳ボランティア
養成講座を開催するほか、
市内小中学校の福祉教室に参
加し、児童生徒の皆さんに視
覚障害について、音訳につい
てお伝えする活動をしていま
す。

また毎夏、利用者さんや点
訳奉仕会と共に合同交流会を
行っており、貴重な意見交換
の場となっています。

『朗読』は知っているけど
「音訳」は知らないなあ』とい
う方が多いのではないでしょ
うか。「朗読」は読み手が感じ
たことを自由に表現できます
が、「音訳（＝音声訳）」は目の
不自由な方の目の代わりとな
って情報を伝えるものです。
文章などを聞いて感じる主体
は利用者さんです。そのため
感情を込めずに正確に読むこ
とが求められます。イメージ
としてはニュースアナウンスに
似ています。また、図表やグ

ラフ・写真など多様な視覚的
情報を言葉で説明するのも、
音訳の特徴といえるかもしれ
ません。
パソコン、スマホやAI自動
音声など情報を得る方法が増
えた現在でも、目の不自由な
方は自由に情報を手に入れる
ことが難しい状態にあります。
皆さんの近くにそういう方が
いらつしやることを知ってい
ただけるとありがたいです。

